

今月のことば

無碍光の利益より

威徳広大の信をえて

かならず煩惱のこおりとけ

すなわち菩提の水となる

罪障功徳の体となる

こおりとみずのごとくにて

こおりおおきにみずおおし

さわりおおきに徳おおし

親鸞

親鸞聖人のご和讃より。

仏さまの光を受けて、私たちが避
けたいと思う悩みや迷いのこおり
が、私たちの姿への気づきや目覚め
のみずになっていく。煩惱がそなわ
った身だと受けとめられた親鸞さん
の言葉です。

INFORMATION

二〇二三年回忌のご案内

一周忌 令和 四年(2022年)
三 回忌 令和 三年(2021年)
七 回忌 平成 二十九年(2017年)
十三回忌 平成 二十三年(2011年)
十七回忌 平成 十九年(2007年)
二十三回忌 平成 十三年(2001年)
二十七回忌 平成 九年(1997年)
三十三回忌 平成 三年(1991年)
三十七回忌 昭和 六十二年(1987年)
五十回忌 昭和 四十九年(1974年)



雪の徳泉寺(1月25日)

二月 同朋会

二月十一日

(第二土曜日)

勤行 住職・前住職法話

仏の教えを聞きながら、
自らの生き方をたずねてい
く聞法の会です。
どなたでも参加できます
のでぜひお運びください。

『徳泉寺報』後記 我が家の毎年恒
例「今年の漢字」。住職は「会」。人
との出会いを大切に。そして苦手な会
計簿を克服する一年に。坊守(ぼうも
り)は「領」。相手の話を領(うな
ず)いて聞く、丸ごと受け止められる
私でありたいと思います。

令和五年(二〇二三年)の年回忌のご案内です。
ご縁有る方の回忌法要の確認にご利用ください。
回忌の数え方は少し複雑です。

一周忌は一年後に行いますが、その後三回忌は二
年後、七回忌は六年後と一年ずつ前に行います。

コロナ禍において以前のように親族一同介しての
回忌法要の実施が難しくなっています。親戚縁
者が遠方にお住まいのためご家族だけで回忌法要を
されたり、時期をずらしたり、何人かの回忌法要を
合わせて執り行ったりとご家庭によってさまざまな
回忌のお迎えの仕方があるかと思えます。日付にこ
だわらず、ご遺族皆様が一番良い形でお迎えできる
ようお気軽にご相談ください。

故人に思いを馳せ、今ある我が身を振り返る場と
して大切にお迎えできればと思います。